

第2回例会 シニア研修会

開催日 2018年 6月 19日 (火)

開催場所 真駒内カントリークラブ (空沼コース)

競技の条件

1. ゴルフ規則
2016年度(財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。
2. 使用クラブの規格
『ゴルフ規則付1(B)1a 適合ドライバーヘッドリスト』を適用する。(ゴルフ規則176p 参照)
3. 使用球の規格
『ゴルフ規則付1(B)1b 公認球リスト』を適用する。(ゴルフ規則177p 参照)
4. ホールとホールの間での練習禁止
『ゴルフ規則付1(B)5b ホールとホールの間での練習禁止』を適用する。(ゴルフ規則181p 参照)
5. スコアカードの提出
本競技においてはエリア方式を採用する。
6. 競技終了時点
本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭で囲み、または青杭を立て白線をもってその限界を表示する。
3. ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を表示する。
4. 排水溝は、動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝はその道路の一部とみなす。
6. 空沼8番ホールの手前のラテラル・ウォーターハザードに球が入った場合は、グリーン手前のドロップ区域から1打付加して打つこと。
7. 空沼8番ホールのグリーン横にあるマンリフト並びに防護ネット(動かさない障害物)がプレーヤーの障害となる場合は、プレーヤーは無罰でグリーン横の指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。
8. 空沼13番ホール、17番ホールにおいて、球がラテラル・ウォーターハザード内にあることが分かっているかほぼ確実な場合、プレーヤーはゴルフ規則26にもとづいて処置をするか、または追加の選択として1打罰を加え、指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。
9. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされた場合。
規則18-2 と規則20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、相手、またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。
その球やボールマーカーは規則18-2 や規則20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。
このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注:パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。
そのような状況で動かされたボールマーカ―はリプレースされることになる。

注 意 事 項

1. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、競技用カード交付場所付近に掲示して告示する。
2. パー3のホールに限り、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーイングランドまで来ている場合、パッティンググリーン上にある球の位置をマークして全て拾い上げ、後続組プレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーイングランドからプレーさせること。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないよう注意すること。
前の組より2ホール以上遅れた場合は、不当の遅延となりペナルティの対象になります。

競技委員長 山下 智子